

【問題】

患者：14歳男性.

現病歴：1カ月前から下血があるため近医を受診. 血液検査にて低蛋白血症を認め, 蛋白漏出シンチグラフィーにて横行から下行結腸にかけて蛋白漏出が指摘され, 精査目的で当科紹介となった.

注腸X線検査：横行結腸からS状結腸にかけてちりめん皺様の横走ひだを認め, SMT様の隆起が多発していた (Figure 1).

大腸内視鏡検査：横行結腸からS状結腸にかけて多発する粘膜下腫瘍様隆起と粘膜内のうっ血を認めた. 透明感のある隆起で, クッションサインは陽性であった (Figure 2). 同時に行った超音波内視鏡検査では粘膜下層および腸管壁外に多発

する大小不同の無エコー腫瘤を認め, 隔壁をともなっていた.

腹部CT検査：後腹膜を中心にびまん性にX線低吸収域を認め, 一部で網目状の構造を呈していた. この低吸収域は横行結腸からS状結腸, 後腹膜の血管系を巻き込むように広がっていたが, 血管に口径不同は認めなかった (Figure 3).

どのような疾患を考えますか？

解答は日本消化器病学会雑誌106巻7号をご覧ください

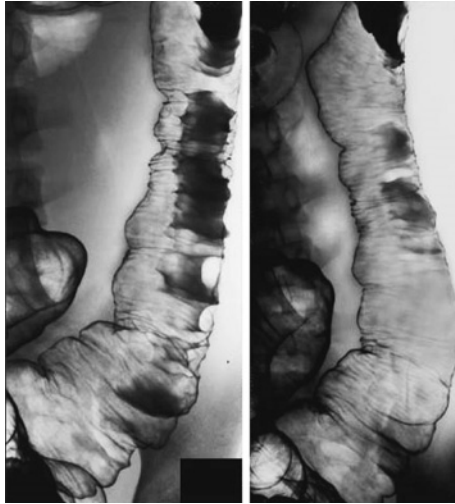


Figure 1.

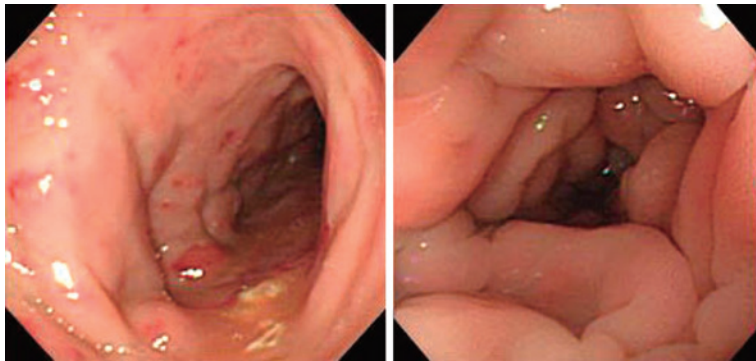


Figure 2.

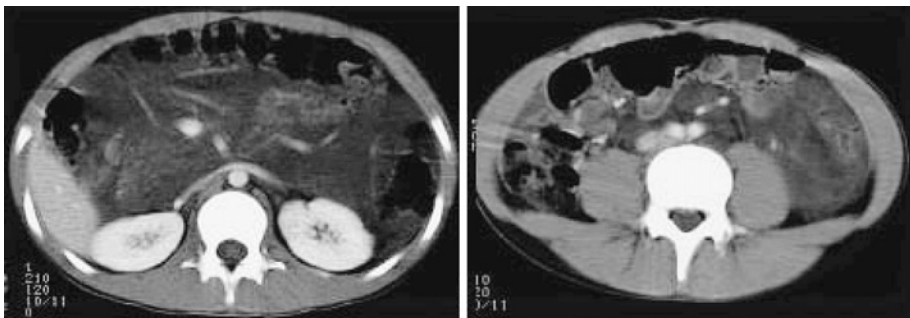


Figure 3.